徒然草 ・大事を思ひ立たん人は・

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段
〔①　　〕に入って悟りを開くという〔②　　〕を思い立とうとする人は、捨てておけず、〔③　　〕ことの本望を押し通さないで、そのままそっくり〔④　　〕のがよい。	命は〔⑤　　〕を待つものであろうか。（決して待ってくれない）〔⑥　　〕がやって来ることは、〔⑦　　〕や〔⑧　　〕が攻めてくるよりも速くて、〔⑨　　〕ことが難しいのに、そのとき、老いた親、〔⑩　　〕、君の恩、〔⑪　　〕などを、捨てにくいと言って捨てないでおられようか。

重要語句 次の語句の意味を答えなさい。

(1) いとど

(2) いときなし

重要文法 傍線部の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

(1) 大事を思ひ立たん人は（三一・2）

(2) 捨つべきなり。（三一・3）

(3) 嘲りやあらん（三一・4）

(4) あるべからず。（三一・7）

	意味	活用形
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 「同じくはかのこと沙汰しおきて」（三一・3〜4）の「沙汰」の意味として適当なものを次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 議論して決めること。判定。
イ 相談すること。評議。
ウ 命令すること。指図。
エ 処理すること。始末。
オ 取り上げること。問題。

2 「沙汰しおきて」（三一・3〜4）、「したためまうけて」（三一・4）の下に共通する適当な語句を補いなさい。

3 「少し心あるきは」（三一・7）とは、どのような人か答えなさい。

4 「大事を思ひ立たん人は」の段で、「大事」のためには何がいちばん肝心だと述べているか、簡潔に答えなさい。